

第四次国有林野施業実施計画書

(一斉変更)

(東青森林計画区)

(第二次変更計画)

計 画 期 間	自	平成23年4月 1日
	至	平成28年3月31日

(第一次変更 平成24年3月)

(第二次変更 平成25年3月)

東北森林管理局

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更するものである。

- 1 地域管理経営計画書、国有林野施業実施計画書及び伐採造林計画簿作成様式について（平成11年1月29日付け林野経第4号林野庁長官通達）一部改正により機能類型の区分を変更したことや、6レクリエーションの森の名称及び区域に表示項目を追加したこと、7公益的機能維持増進協定の名称及び区域、8（3）森林共同施業団地の項目を新たに記載することから変更するものである。
- 2 国民参加の森づくりについて、新たなニーズに対応し、手続きの透明性をより高め、多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森づくりを推進するため、国有林のフィールドを提供するため協定を締結したことから変更するものである。

【変更項目及び頁】

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所毎の伐採方法及び伐採量並びに更新箇所毎の更新方法及び更新量	
（2）水源かん養タイプにおける施業群別面積等	2
（3）水源かん養タイプの施業群別の上限伐採面積	3
（4）伐採総量	4
（5）更新総量	5
（6）保育総量	5
6 レクリエーションの森の名称及び区域	6
7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域	9
8 その他必要な事項	
（2）フィールドの提供	10
（3）森林共同施業団地	10
附 属 資 料	
（2）機能類型別の国有林野の現況	11

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域

国有林野の区画の名称及び区域並びに5機能類型及びエリア別の区域については、国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所毎の伐採方法及び伐採量並びに更新箇所毎の更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位 : h a)

施業群		面積	取扱いの内容	伐期齢(回帰年)
施業群	スギ・カラマツ等	8,094.66	伐区の分散	60
	スギ・カラマツ等 人工植栽		スギ・カラマツ等の人工植栽	
	スギ・カラマツ 長伐期	4,504.44	伐区の分散	スギ 100
			スギ又はカラマツの人工植栽	カラマツ 80
	植栽型 複層林	1,423.53	人工植栽による複層林誘導	100
			育成複層林の造成	
	アカマツ	1,528.34	伐区の分散	50
			アカマツ等の天然更新	
	アカマツ 長伐期	257.23	伐区の分散	100
			アカマツ等の天然更新	
	ヒバ等 択伐誘導	1,864.01	ヒバを主とする天然林	-
			択伐天然更新	
	ヒバ等 択伐	8,956.72	ヒバを主とする天然林	(15)
		択伐天然更新	(30)	
広葉樹 択伐誘導	1,461.72	ブナ等の広葉樹を主とする天然林	-	
		択伐林への誘導		
広葉樹 択伐	7,587.57	ブナ等の広葉樹を主とする天然林	(40)	
		択伐天然更新		
ナラ等 中小径木	1,600.07	ナラ等を主とする天然林	30	
		皆伐萌芽更新		
天然更新 型複層林 誘導	1,384.55	育成複層林造成	70	
		天然更新		
分収林	2,930.77	個々の契約内容による	-	
その他	3,222.46	個々の林分ごとの目的に応じて取扱う	-	
施業群設定外	56.08			
合計	44,872.15			

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施 業 群	上限伐採面積
スギ・カラマツ等	674.56
スギ・カラマツ長伐期	233.76
植栽型複層林	142.35
アカマツ	152.83
アカマツ長伐期	12.86
ヒバ等択伐	2,328.74
広葉樹択伐	948.45
ナラ等中小径木	266.68
天然更新型複層林誘導	98.90
分収林	244.23
その他	393.83

(4) 伐採総量

(単位 : m³、ha)

区 分	林 地			臨時伐採量	計	林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計				
山地災害防止タイプ	-	26,466 (413.12)	26,466				
自然維持タイプ	-	-	-				
森林空間利用タイプ	242	26,784 (519.95)	27,026				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水 源 か ん 養 タ イ プ	スギ・カラマツ等	-	183,101	183,101			
	スギ・カラマツ長伐期	-	69,121	69,121			
	植栽型複層林	-	25,208	25,208			
	アカマツ	-	18,508	18,508			
	アカマツ長伐期	-	2,986	2,986			
	ヒバ等択伐林誘導	-	17,269	17,269			
	ヒバ等択伐	21,873	-	21,873			
	広葉樹択伐林誘導	-	386	386			
	広葉樹択伐	-	240	240			
	ナラ等中小径木	12,676	-	12,676			
	天然更新型複層林誘導	-	9,475	9,475			
	分収林	371,209	24,670	395,879			
	その他	-	1,786	1,786			
施業群設定外	-	-	-				
計	405,758	352,750 (5,350.46)	758,508				
合 計	406,000	406,000 (6,283.53)	812,000	25,000	837,000	-	837,000
年 平 均	81,200	81,200 (1,256.71)	162,400	5,000	167,400	-	167,400

注：() は、間伐面積である。

(5) 更新総量

(単位 : ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単層林 造成	-	-	1.28	-	776.53	777.81
	複層林 造成	-	-	-	-	6.20	6.20
	計	-	-	1.28	-	782.73	784.01
天然 更新	天然種 第1類	-	-	-	-	107.53	107.53
	天然種 第2類	-	-	-	-	250.77	250.77
	ぼう芽	-	-	-	-	75.42	75.42
	計	-	-	-	-	433.72	433.72
合計		-	-	1.28	-	1,216.45	1,217.73

(6) 保育総量

(単位 : ha)

区分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
下刈	単層林 造成	2.61	-	1.92	-	1,655.69	1,660.22
	複層林 造成	-	-	-	-	17.15	17.15
	計	2.61	-	1.92	-	1,672.84	1,677.37
つる切 ・除伐	単層林 造成	2.67	-	0.69	-	210.84	214.20
	複層林 造成	-	-	-	-	3.73	3.73
	計	2.67	-	0.69	-	214.57	217.93

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	選定理由	既存施設 の概要	施設 整備			
自然休養林	眺望山	既設	自然観察 教育ゾーン 192.30	青森署 5内, 8内~13内 25内, 104内	育成 複層林	他に類を見ないヒバ の老齢天然林の樹海 と、広葉樹の四季の色 彩変化が美しく、自然 探勝、自然探求、散 歩、ピクニック等の場 に適している。 保健機能森林	展望台 (国) 遊歩道 (眺望 山・梵珠 山自然休 養林保護 管理協議 会)	-			
			343.10	青森署 5内, 8内~14内 23内~25内, 31内 32内, 40内, 41内 43内, 106内, 107内 109内, 114内, 115内 117内	天然 生林				保健機能森林		
			8.78	青森署 5内, 11内~13内 25内, 41内, 109内 114内, 115内	林地 以外						
		計	544.18								
		新設	森林スポーツ ゾーン 29.80	青森署 4内, 14内, 17内, 18内	育成 複層林	保健機能森林					
			26.20	青森署 4内, 14内 17内~19内	天然 生林						
			0.94	青森署 4内	林地 以外						
		計	56.94								
		新設	風景ゾーン 227.22	青森署 3内, 4内, 6内, 7内 15内, 17内~19内 22内	育成 複層林						
			186.48	青森署 3内, 4内, 6内, 7内 15内, 17内~19内 22内	天然 生林						
			0.26	青森署 4内	林地 以外						
		計	413.96								
合計			1,015.08								

種類	名称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	選定理由	既存施設 の概要	施設 整備
自然観察教育林	八甲田山	既設	9.67	青森署 240内	育成 単層林	ブナ二次林、高山植物、湿原などの自然資源が豊富で、かつ、良好に保存されており、また眺望景観が優れていることから登山、自然探勝、自然研究、ピクニック等の場に適している。 保健機能森林	歩道 (青森県)	-
			27.41	青森署 230内	育成 複層林			
			641.17	青森署 221内, 222内, 226内 228内~232内, 236内 240内~242内, 245内 248内~250内, 253内 254内, 260内	天然 生林			
			11.50	青森署 231内, 232内, 236内 240内, 241内, 253内	林地 以外			
	計	689.75						
	今別八幡宮	既設	1.04	青森署 919ほ	天然 生林	樹齢100年以上のスギ人工林と広葉樹天然林とが織りなす森林景観と津軽海峡の眺望景観が素晴らしく、自然観察の場に適している。	-	-
合計			690.79					
野外スポーツ地域	八甲田山	既設	124.73	青森署 218内~220内 225内, 236内	育成 複層林	高山植物、湿原など自然資源が豊富で眺望景観が素晴らしく、登山、ハイキング、冬季は全山が天然のゲレンデとなるなど四季を通じて利用されている。	ロープ ウェー・ スキー場 (民間)	-
			1,911.86	青森署 214内~220内, 225内 231内, 236内, 244内 245内, 248内, 252内 253内, 254内	天然 生林			
			240.57	青森署 218内, 219内, 244内 245内, 248内 252内~254内	林地 以外			
			計	2,277.16				
		雲谷高原	既設	2.29	青森署 241は			
			15.98	青森署 240い, 241い	天然 生林			
			13.98	青森署 235イ, 235ロ, 241イ	林地 以外			
		計	32.25					

種類	名 称	新設 既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	施業 方法	選定理由	既存施設 の概要	施設 整備
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	平館	既設	2.13	青森署 515ろ3	育 成 単層林	良質で豊富な積雪を 有しスキー場に適して いる。	-	-
			8.12	青森署 515い1~い3, ろ2 516と	天然 生林			
			計	10.25				
	眺海の森	既設	1.67	青森署 907よ, た	育 成 単層林	良質で豊富な積雪を 有しスキー場に適して いる。	キャンプ 場・ス キー場 (今別町)	-
			13.75	青森署 907と, ち 907か1~907か3 907れ	天然 生林			
13.92			青森署 907イ, 907ハ	林地 以外				
計	29.34							
合計			2,349.00					

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

名 称	区域 (林小班)	面積 (ha)	森林施業 の種類	林道の 開設等	設定年及び 有効期間	備 考
該当なし	民					
	国					

8 (2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備 考
青森署 4よ2	ふれあいの森 「生協ふれあいの森」	平成13年1月に協定締結 (更新) 青森県生活協同組合連合会が活動実施
青森署 738ぬ 741り	遊々の森 「ヨモットの森」	平成15年3月に協定締結 (更新) 蓬田村所在の小中学校が活動実施
青森署 235ほ 235そ	遊々の森 「青森大学雲谷の森」	平成15年10月に協定締結 (更新) 学校法人青森山田学園が活動実施
青森署 428ほ 428わ	遊々の森 「自遊・共遊の森」	平成18年11月に協定締結 青森森林インストラクター会が活動実施
青森署 431は5 431は6 431は7	社会貢献の森 「陸奥湾の海と山をつなぐ森」	平成23年10月に協定締結 白神山地を守る会が活動実施
青森署 431る3内	社会貢献の森 「少花粉スギの森」	平成24年1月に協定締結 青森森林インストラクター会が活動実施
青森署 431る3内	社会貢献の森 「青森県信用組合の森」	平成24年4月に協定締結 青森県信用組合預金者 および地域住民が活動実施

(3) 森林共同施業団地

名 称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した 施業の内容	備 考
石浜尻高川地域森林 整備団地	民 私有林 水源整備事務所有林 公社有林	24.26	施業の集約化を図 り、路網整備と間 伐を主として実施 する	平成23年3月協定締結 外ヶ浜町、森林農地整備 センター青森水源林整備 事務所、青い森農林振興 公社
	国 533い1～ろ4、ろ6、 へ1、へ2 534ろ2、535ろ1、 537い5、ほ9、ち1、 ち2、 539い1、い3、い6、 ろ1、ろ2、へ～り2	100.00		

機能類型別の国有林野の現況

森林計画区：015 東青

(単位：面積 ha, 材積 m³)

機能類型 林種	山地災害防止タイプ						自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		快適環境形成タイプ		水源涵養タイプ		合計	
	土砂流出崩壊防備			気象害防備			面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積	面積	材積
	面積	材積	材積	面積	材積	材積										
人工林	889.55	204.179					889.55	204.179	1,117.42	190.215			19,897.88	4,139.489	21,904.85	4,533.883
育成単層林																
育成複層林	38.80	7.747				38.80	7.747	8	65.20	7.043			406.69	92.508	510.93	107.306
小計	928.35	211.926				928.35	211.926	8	1,182.62	197.258			20,304.57	4,231.997	22,415.78	4,641.189
天然林	5.25	335				5.25	335						264.76	38.577	270.01	38.912
育成単層林																
育成複層林	795.24	183.698				795.24	183.698		578.36	136.347			5,518.87	1,415.971	6,892.47	1,736.016
天然生林	8,693.33	1,689.462				8,693.33	1,689.462	215.972	2,377.69	215.972			18,737.70	3,961.178	35,254.30	6,731.452
小計	9,493.82	1,873.495				9,493.82	1,873.495	215.972	6,023.94	1,001.187			24,521.33	5,415.726	42,416.78	8,506.380
無立木地													46.25		46.25	
竹林																
林地計	10,422.17	2,085.421				10,422.17	2,085.421	215.980	7,206.56	1,198.445			44,872.15	9,647.723	64,878.81	13,147.569
林地以外	595.12					595.12			463.90				1,819.03	2.045	3,349.32	2.045
合計	11,017.29	2,085.421				11,017.29	2,085.421	215.980	7,670.46	1,198.445			46,691.18	9,649.768	68,228.13	13,149.614

注1 < >は機能類型区分外で内書。 2 ()は竹林の面積及び材積で外書。